

# 巻 頭 言

所長 阿部 俊和

令和2年度の金ケ崎診療所、歯科診療所の年報発刊に当たりご挨拶申し上げます。

令和2年度は世界全体が新型コロナウイルス感染症の脅威にさらされ、本邦、そして我々金ケ崎町の住民一人一人にとっても行動変容が求められた年となりました。今でこそ供給も安定してきましたが、当初はマスクや消毒用アルコールも不足し、医療を行うにも支障を来した状況でありました。

当診療所におきましては、町立という立場であり、発熱患者様への対応も行わなければならない、まずはハード面での対応として、感染者に対応するための患者様の導線の区分、感染室とCT室へのHEPAフィルターの設置、発熱患者入り口への風除室の設置、さらには新型コロナウイルスPCR検査用の検体採取のためのプレパブ小屋の設置等も行ってきました。

発熱患者様への対応として、当診療所は原則予約制、主治医制であります。当面の間、午後は予約を入れず、午後を訪問診療と発熱者対応に当てることに致しました。発熱のある患者様に対しては、電話で受け付けを行い、午後に受診していただき、医師、看護師ともマスクにフェースガード、帽子にエプロン、そしてゴム手袋を装着して診察に当たりました。4月からはインフルエンザの抗原検査、そして血液検査を同時に行い、その結果新型コロナウイルス感染が疑われる患者様に関しては保健所に連絡していただき奥州金ケ崎地区発熱外来での対応をお願いしておりました。この外来は医師会の会員の手上げ制で対応に当たったわけですが、当診療所の医師、看護師も奥州市まで出張して診療に当たりました。12月には当診療所もPCR検査の認可を取得し、唾液によるPCR検査を行っています。

このように日常診療と平行して発熱患者（新型コロナウイルス感染症疑い）を診るストレスを感じつつ一年間診療所業務を果たしてきたわけですが、年度末には、新年度早々に開始される医療従事者やその後続く高齢者に対するワクチンの接種計画やシミュレーションを同時進行で行いました。

このようなコロナ禍にあって診療所内での密を避け、高齢患者の感染リスクを抑えるべく、病状の安定している患者様に対してはなるべく内服薬の長期投与を行い、患者数を抑制させて頂きました。それにもかかわらず、収益に関しては僅かではありますが、前年を上回る事ができました。

新年度からは国の指針に沿って診療所を挙げワクチン接種に全力を尽くします。ワクチン接種に際し、患者様にご迷惑をおかけするかもしれませんが、多くの町民が早々にワクチン接種を済ませ安心安全な社会に戻る事を願っております。

関係する皆様に感謝申し上げますと共に今後ともよろしく願いいたします。

# 金ヶ崎診療所の理念と基本方針

## 【理 念】

町民が明るく健康でいられるようにお手伝いします。

## 【基本方針】

1. 患者様の訴えを真摯に伺い診療に当たります。
2. 迅速で的確な医療を提供します。
3. 患者様中心の全人的医療を目指します。
4. 訪問診療の充実を図ります。
5. 近隣の医療機関と連携を密にすることにより紹介、入院を容易にします。
6. 出前講演や広報等を通じて地域の予防医学に貢献します。

# 金ヶ崎町保健福祉センター事業目的

## 1. 金ヶ崎診療所、金ヶ崎歯科診療所

(1) 金ヶ崎町は人口 15,000 人強で北上市、奥州市に囲まれており、周辺には県立中部病院、県立胆沢病院、県立江刺病院、済生会北上病院、総合水沢病院等の総合病院が林立しております。金ヶ崎診療所は無床診療所であり、一般外来診療と訪問診療、講演等の疾病啓発活動を中心に事業を行っています。当診療所の役割は地域医療であり、患者様を総合的に診察し、高度な医療が必要な患者や、入院が必要な患者を上述の病院にスムーズに紹介し、入院できる環境を作る事にあります。

### (2) 診療所の機能

一般総合内科外来診療

消化器科・外科・肛門科・神経内科・泌尿器科・婦人科・眼科・整形外科・循環器内科・歯科の専門外来

## 2. 訪問看護ステーション

(1) 訪問看護（24 時間対応）

(2) 訪問注射

(3) 訪問診療と合同で緩和医療、看取り

## 3. 保健福祉センター

(1) 元気 100 歳健康支援係

町長の施策方針に基づくプロジェクトの推進

健康づくり、健康増進、がん・骨粗鬆症・特定健診、予防接種、栄養指導など

(2) 医療係

保健医療の企画、調整、地域医療連携

(3) 福祉係

高齢者福祉、障がい者福祉

(4) 介護保険係・地域包括支援センター

介護保険事業、給付、介護予防マネジメント、地域包括ケア

# 1. 金ヶ崎診療所施設の概況

## (1) 診療所施設等の状況

- ① 標榜診療科            内科、外科、肛門外科、泌尿器科、歯科  
    曜日指定診療科    婦人科、神経内科、眼科、整形外科、循環器内科
- ② 一般外来診療
- ③ 主な医療機器の整備状況

### 【放射線部門】

全身用コンピューター撮影装置 (MDC T 16 列)、一般撮影装置、診断用 X 線テレビ装置、骨密度測定装置 (DEXA)、デジタル式歯科用パノラマ X 線診断装置

### 【検査部門】

全自動血液分析装置、自動血球計数装置、ABI (CABI)、心電計、ホルター心電計

### 【その他】

経鼻上部消化管電子内視鏡、経口上部消化管電子内視鏡、  
気管支ファイバー内視鏡、超音波診断装置 (心エコー、頸動脈エコー可)  
泌尿器科膀胱電子内視鏡セット、尿流測定装置、オージオメータ

## (2) 診療圏人口等の状況

### 1) 診療圏人口 (令和 3 年 3 月 31 日現在)

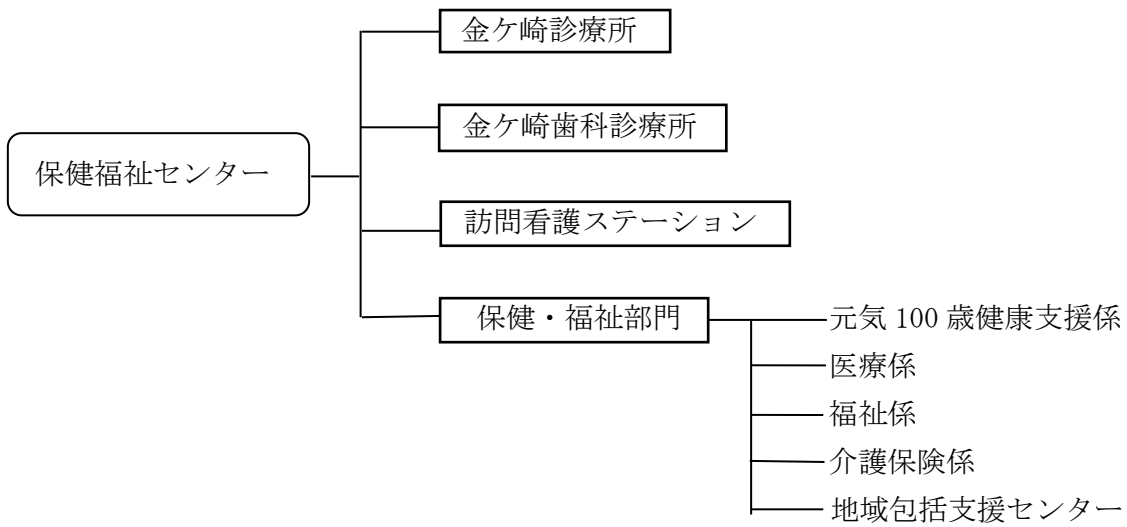
129,498 人

金ヶ崎町 15,479 人、奥州市 114,019 人

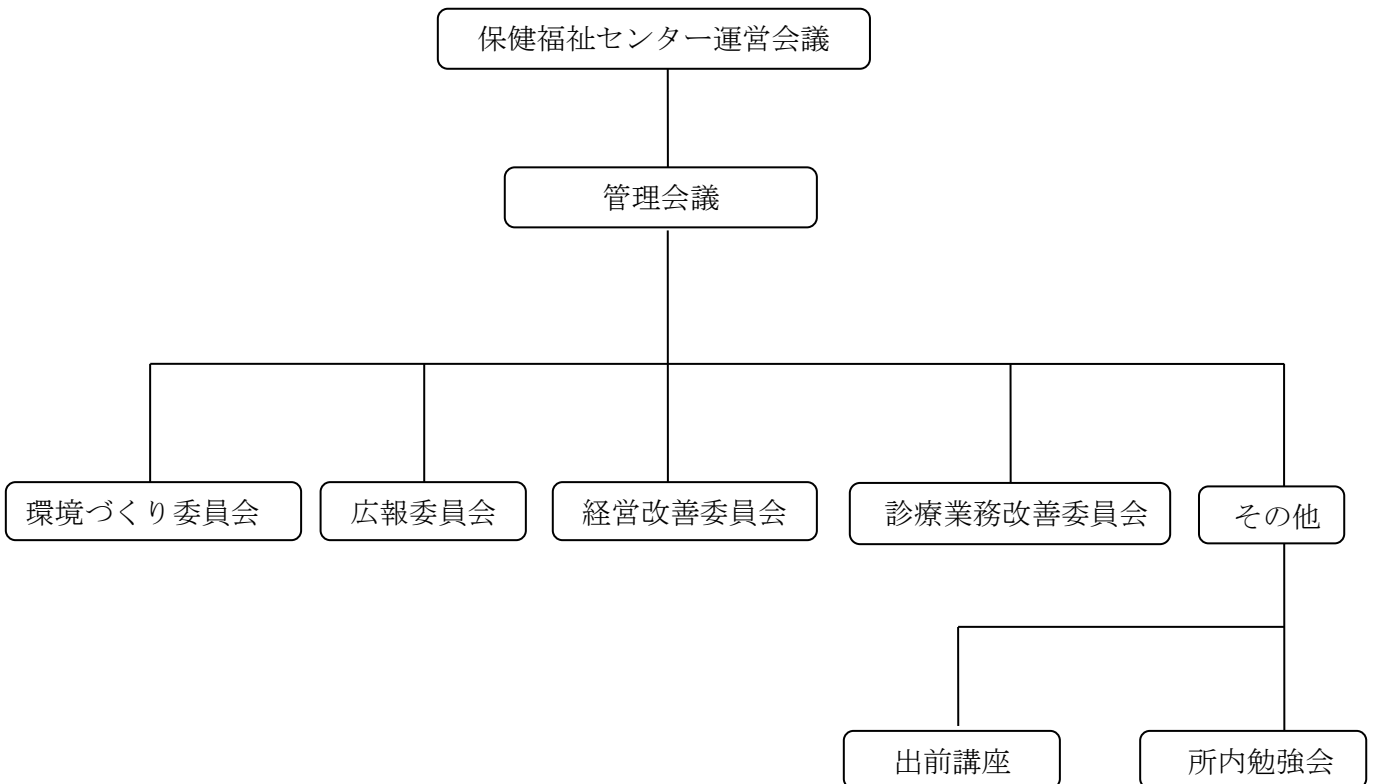
### 2) 病院及び診療所の状況 (地域医療情報システムより 平成 30 年 11 月現在)

金ヶ崎町	一般診療所	6	病床数	0 床
	歯科診療所	6		
奥州市	病 院 数	9	病床数	1,599 床
	一般診療所	70	病床数	127 床
	歯科診療所	49		

### (3) 診療所組織図



### (4) 委員会組織図



## (5) 診療体制及び職員の状況

### 1) 医師数の状況 (令和3年3月31日現在) (単位:人)

診療科	常勤	診療応援	診療応援の内訳
内科	2		
外科	1		
泌尿器科	(1)		
肛門外科	(1)		
眼科		1	毎週1回、月曜日午後
婦人科		1	2週に1回、木曜日午前
神経内科		1	2週に1回、木曜日午後
整形外科		1	毎週1回、水曜日午前
循環器内科		1	毎週1回、木曜日午前
歯科	1		
計	4	5	

( ) は兼任

### 2) 職員数の状況 (令和3年3月31日現在) (単位:人)

診療科	常勤	会計年度任用職員	計	備考
医師	3		3	
歯科医師	1		1	
看護師	6	1	7	
薬剤職員	1		1	
医療技術員	2	3	5	
歯科衛生士	1	1	2	
事務職員	3		3	
計	17	5	22	

## 2. 部門別活動状況

### 内 科

内科長 加藤 喜信

令和2年度は新型コロナウイルス感染症により、診療体制も大きな変化を求められるものとなりました。令和2年4月7日東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪、兵庫、福岡に緊急事態宣言が発令されたことを受け、当診療所でも発熱者の外来は一般患者と隔離した形で行うようにしました。その後令和3年1月からは、発熱者が外来受診する時間帯を午後に限定することで、新型コロナウイルスの感染が疑われる患者と一般患者との接触を極力無いものとするような体制にしました。そのため午後の一般診療は制限されることとなり、一般患者にも不自由をかける状況は今も続いています。また、内視鏡検査においても、令和2年4月には日本消化器内視鏡学会から不要・不急の検査は控えるような提言が出ましたが、必要と考えられる患者に対し適切な検査を行い、上部消化管内視鏡検査 426 件・下部消化管内視鏡検査 128 件とほぼ例年に遜色ない検査数となりました。幸い内視鏡検査に伴う新型コロナウイルス感染症の感染例はなく、これも看護師等の感染防御の徹底のおかげと感謝しております。今後は新型コロナウイルスに対するワクチン接種もするようになり、ますます忙しくかつ外来時間等も制限されるようになりますが、引き続き必要なことは漏らさないようにしながら、患者の不利益にならないよう頑張っていきたいと考えております。

#### ◇上下部消化管内視鏡検査

(単位：例)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
上部消化管内視鏡検査	405	430	442	426
下部消化管内視鏡検査	118	135	117	128

# 泌 尿 器 科

泌尿器科 阿部 俊和

令和2年度はコロナ禍で始まりました。このウイルスは変異を繰り返し、更に感染力が強いものとなり、国内におけるワクチン接種の遅れ、そして特効薬も未だ開発されず、収束の目途は立たず更に拡大の様相を呈しております。

このような状況下でしたので、従来1か月毎に来ていただいていた患者様にあっても状態が落ち着いている患者様に対しては、密を避け、所内での感染を予防するため2か月や3か月の長期処方を行いました。その影響もあり患者数は若干減少したと思われまます（統計上は増加しているが、複数科受診での計算によるもの）。

泌尿器科にあっては前立腺肥大症や過活動膀胱、そして慢性腎臓病など慢性疾患の患者様が多いのですが、時には血尿で受診され超音波検査、CT検査や膀胱鏡検査で膀胱癌や腎臓癌など悪性腫瘍が見つかることもあります。その際には速やかに胆沢病院や水沢病院に紹介しております。また、前立腺癌に関してはPSAが有用で、検診で指摘され当科で生検を行い前立腺癌と診断された例もあります。しかし、当科を受診する患者様の多くは高齢で基礎疾患を有しており、外来での生検がリスクを伴うため近隣の病院に紹介することが多くなっています。このような患者様におきましても術後、あるいは状態が落ち着けば当科に逆紹介していただきその後のフォローを行っております。

泌尿器科での検査数は以下に示すものですが、ほぼ前年と同様でした。

令和3年度は一般診療に加え、発熱外来、更に町民全体を対象としたワクチン接種を進めなければならない、従前より診療所を利用されている患者様にはご不便ご迷惑をおかけすると思いますが、可能な範囲で、しっかり泌尿器科診療も行っていますので、どうぞよろしく申し上げます。

## ◇おもな検査

膀胱鏡検査	: 22 件
前立腺生検	: 1 件
尿流測定	: 32 件
残尿測定	: 185 件
腹部超音波検査	: 115 件



# 外 科

外科長 古田 一裕

外科の診療内容としては消化器一般外科、整形外科疾患、癌一般の診断および癌末期の在宅管理を主に行っています。

消化器一般外科の診療としては消化器疾患、肛門疾患、外傷、体表の腫瘍、褥瘡、皮膚疾患、爪の疾患、熱傷を主な診療対象としています。創処置、熱傷に関しては可能な症例には閉鎖湿潤療法を心がけて診療しています。また褥瘡に関しては解放湿潤療法を主に行っています。巻き爪に対しては主に矯正治療のコレクティオを行っていますが、難治症例に関してはフェノール法を開始しました。肛門疾患に関しては診断と保存的治療を行っていますが、内痔核に対しては四段階注射療法（ジオン注射療法）の導入を準備しましたがまだ施行していません。手術が必要な症例に関しては手術可能な近隣外科を紹介をしています。

整形外科疾患に関しては平成30年7月より、月2回の非常勤医師による整形外来が開始されました。緊急を要さない骨折が当院でも診療可能となりました。対象疾患としては骨折、腰痛、肩関節周囲炎、骨粗鬆症、脊柱管狭窄症、変形性膝関節症です。総合水沢病院整形外科、県立胆沢病院整形外科、北上済生会病院整形外科、県立中部病院整形外科に紹介し診断および治療の確定をした後に当科での経過観察とするようにしています。令和2年度末にさらに総合水沢病院整形外科の縮小のため当院への逆紹介患者が来院するようになりました。人口構成の高齢化にともなってさらに整形外科疾患の診察の需要が昨年にも増して増加しています。今後もさらに高まると思われ、平成2年度より毎週水曜日の診察を行っています。

癌の診療に関しては内科、加藤先生の協力のもと上部消化管内視鏡検査、下部消化管内視鏡検査を積極的に行っています。また癌末期の在宅診療、在宅緩和ケア、看取りも積極的に行っています。

県立胆沢病院、県立中部病院の化学療法の補助（GCSFの投与）も行うようにしています。また乳がんのホルモン療法の依頼もあり今後、徐々に増加すると思われれます。

令和元年度より高齢者の転倒による頭部外傷に対して積極的な頭部CT撮影をしていますが、令和2年度も頭蓋内出血を伴う症例を認め近隣脳外科への紹介を行っています。今後も継続して撮影を行うこととしています。

診療実績は令和2年度外科年報でみると前年度と比べて外科関連疾患数は微増増加傾向にあります。新型コロナウイルス感染症の流行で受診を控える傾向にあるなか、外科の受診者数が増加したのは町内で外科対象疾患の初診施設として周知されつつあると考えられます。

◇令和2年度 外来診療実績 ※()内は前年度実績

縫合処置	107 (77) 件	抜爪、爪周囲炎	14 (3) 件
2度熱傷以上	58 (51) 件	切開排膿	31 (15) 件
コレクティオ	1 (2) 件	肛門鏡検査	22 (19) 件
肛門疾患患者数	139 (128) 件	骨粗鬆症患者数	573 (508) 件
骨折の診断	80 (65) 件		

◇出席学会等

日本外科学会、日本胃癌学会、日本乳癌学会、日本大腸肛門病学会、全国国保地域医療学会

# 神 経 内 科

担当看護師 石母田 陽子

令和2年度も、岩手医科大学付属病院脳神経内科より水野昌宣先生の応援をいただき、毎月2回木曜日午後の診療を行うことができました。患者数は前年度より39名減の145名でした。今年度は所内の各科からの紹介に加え、数名ではありますが近隣医療機関からの紹介がありました。また当診療所からは、精査・加療目的にて岩手医大や県立胆沢病院への紹介もあり、各科及び近隣医療機関との連携を図ることができました。一回の外来受診者数は平均6人前後で、おもな症状は、手足のしびれ、めまい、ふらつき等でした。

次年度からも引き続き水野昌宣先生に毎週応援いただけるようになりましたので、今後も各科と協力しながら患者数の増加に取り組んでいきたいと思っております。

神経内科の診療は以下のとおりです。

診療医師	水野 昌宣 先生
診 察 日	隔週の木曜日午後
受付時間	15時30分まで
診療時間	14時～16時30分まで（受付された方が終了するまで）

# 婦 人 科

担当看護師 伊藤 舞

令和2年度も引き続き、岩手医科大学教授 福島明宗先生の応援により毎月2回木曜日の午前中に診療を行うことができました。

一日平均患者数は約25人で、年間を通してみると町民検診後の10月以降は増加傾向でした。

受診目的として、精密検査、リングペッサリー使用のための処置等経過観察、更年期障害、月経不順、膣炎等でした。

前年度よりは精密検査件数は減ってはいますが、定期的に子宮筋腫や卵巣のう腫で経過観察する患者様が定着してきております。手術や継続的治療が必要な方は県立中部病院へ紹介しスムーズな連携を実施することができました。

婦人科では、さまざまな悩みを抱え、年齢や羞恥心で相談できずにいる方も多いと思われます。小さな悩みでも相談できる環境を作っていきたいと思ひます。

## ◇令和2年度検査件数

検 査 項 目	件 数
子宮頸部細胞診	34 件
子宮内膜細胞診	9 件
超音波検査	50 件
その他（CT造影等）	4 件

# 整 形 外 科

担当看護師 村上 郁恵

令和2年度は、県立中部病院整形外科の金野大地先生に応援をいただき、毎週水曜日午前に診療を行うことができました。

毎週診療が行われているため、受診希望される患者様も増え一日平均20人以上が来院されています。

特に変形性肩関節症や変形性膝関節症、変形性脊椎症などの患者様が多く、注射などの処置件数が200件近くありました。その他、MRI検査や手術が必要な患者様は総合水沢病院や県立中部病院へご紹介し、スムーズな連携を実施していただきました。

## ◇令和2年度 検査・処置件数

検査、処置	件数
トリガーポイント	58件
関節腔内注射	130件
X線	208件
CT	44件

# 眼 科

担当看護師 高橋 須磨

眼科は平成 30 年 2 月に開設され約 3 年が経過しました。

診療時間は毎週月曜日の午後 1 時 30 分から午後 4 時 30 分の受付となります。

1 週間に 1 回午後のみ診療となりますので、視力・眼圧測定、精密眼底検査、眼底カメラ撮影等を中心とした診察となります。月 1 回の視能訓練士により眼鏡矯正を開始し、眼鏡処方も行っております。

診察のうえ、白内障で手術が必要な方や、緑内障で継続的に治療が必要で視野検査が必要な患者様は県立中部病院や北上済生会病院へ紹介しております。手術後の経過治療は当診療所で行うことにより患者様の負担の軽減につながったと考えます。また地域連携として県立胆沢病院や北上済生会病院よりご紹介頂くこともあり、今後さらに連携を深めていきたいと考えております。

来院する方は、遠方まで通院することが困難な方が多く、身近な存在としてご利用頂けるよう努力したいと思っております。

◇令和 2 年度 患者数（延べ人数）：497 人

上記のうち初診 : 150 人

◇令和 2 年度検査件数

検査項目	件数
眼底カメラ	88 件
眼底三次元	51 件
矯正視力	301 件
屈折検査	175 件
細隙灯顕微鏡検査	63 件
精密眼圧	303 件
精密眼底	325 件

# 循環器内科

担当看護師 高橋 須磨

令和2年度も引き続き、日高見中央クリニックの佐藤紀夫先生に応援をいただき、毎週木曜日午前に診療を行うことができました。1日平均10人程度の患者さんが来院しており心房細動、心室性期外収縮、うっ血性心不全など病気の診断治療が中心でした。入院が必要な患者さんは他病院へのご紹介とスムーズな連携を実施していただいています。

◇令和2年度患者数（延べ人数）：443人

上記のうち初診：47人

# 歯 科

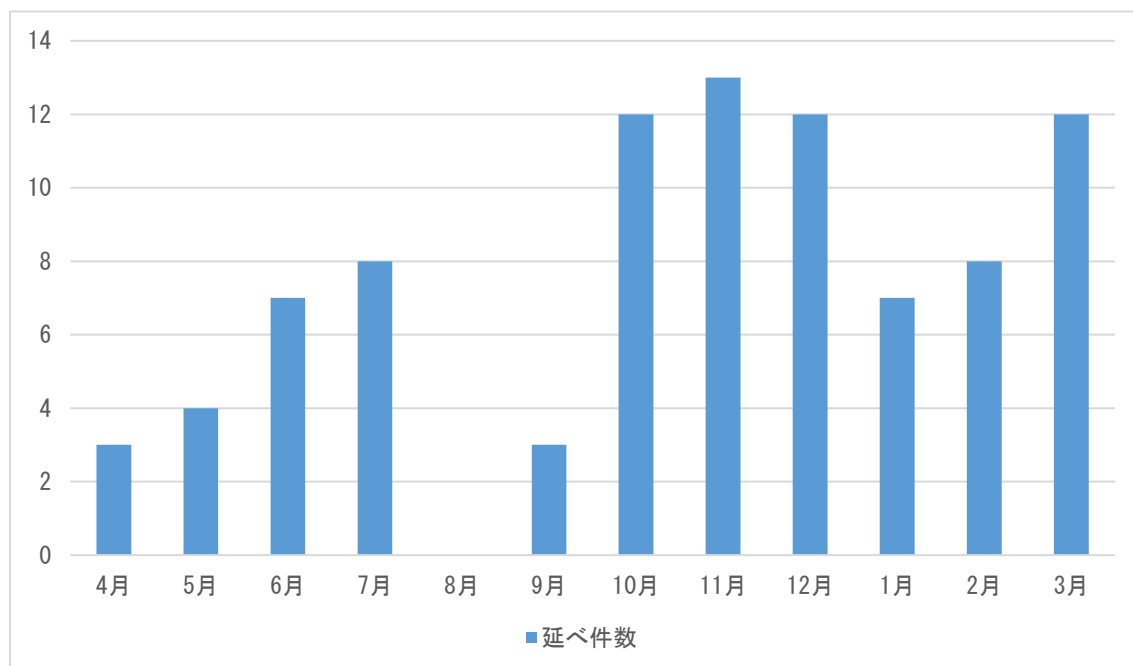
歯科長 高橋 通訓

前年度と大きく変わったのは、相当数のインスツルメントを一括購入したことで全ての患者に使用する、タービン、エンジン、スケーラー、スリーウェイシリンジ、エンドドンティックメーターの端末などを滅菌消毒し、パックして対応できるようになったことです。さらに患者ごと治療後に、ユニットまわりのアルコール消毒、X線撮影後のアルコール消毒、またCR時の照射器、CRシリンジ等口腔内に触れる可能性があるものは全て専用テープでラッピングする、また印象、石膏模型など技工物の消毒、など感染対策を強化したことです。そのため歯科衛生士の仕事量がかなり増えました。

令和2年度の夏まで県内からのコロナ感染者が0人だったこともあり、患者数の減少や、受診控えなどの影響も殆ど無かったのですが、11月頃から県内での感染者数も増加し始めたため、アポイント数の制限、待合室の密を避けるため外待ちをしてもらうなどの対応をし、訪問診療に力を入れました。その結果、上半期かなりの増収で経過していたのですが、最終的に1.99%の収益増に止まりました。

年度末には会計年度職員が退職し歯科衛生士が一人体制となったことと、コロナ禍が継続する中、次年度人員の補充が、速やかにいかない場合どうするかが課題です。

◇令和2年度 訪問歯科診療月別延べ患者数





## 令和 2 年度 歯科保健活動実績

		日付	曜日	場所	内 容	人数
<b>口腔診査</b>						
1	R2	7月21日	火	快老苑		12名
2	R3	3月10日	水	快老苑		14名
						合計 26名
<b>1歳6ヶ月・3歳6ヶ月歯科健診</b>						
1	R2	5月19日	火	保健センター	1歳6か月健診	14名
2		5月26日	火	保健センター	3歳6か月健診	14名
3		6月2日	火	保健センター	3歳6か月健診	18名
4		6月3日	水	保健センター	1歳6か月健診	19名
5		7月14日	火	保健センター	3歳6か月健診	17名
6		7月15日	水	保健センター	1歳6か月健診	18名
7		9月9日	水	保健センター	1歳6か月健診	11名
8		9月15日	火	保健センター	3歳6か月健診	13名
9		10月20日	火	保健センター	3歳6か月健診	20名
10		10月21日	水	保健センター	1歳6か月健診	13名
11		12月9日	水	保健センター	1歳6か月健診	11名
12		12月15日	火	保健センター	3歳6か月健診	14名
13	R3	1月20日	水	保健センター	1歳6か月健診	17名
14		1月26日	火	保健センター	3歳6か月健診	14名
15		3月10日	水	保健センター	1歳6か月健診	15名
16		3月16日	火	保健センター	3歳6か月健診	17名
						合計 245名
<b>幼稚園歯科健診</b>						
1	R2	5月20日	水	南方幼稚園	幼稚園児歯科健診	年少 31名
2		5月26日	火	六原幼稚園	幼稚園児歯科健診	29名+6/2 3歳半健診で1名
3		5月28日	木	南方幼稚園	幼稚園児歯科健診	年長 24名 欠席 2名
4		6月9日	火	南方幼稚園	幼稚園児歯科健診	年中 25名 欠席 1名
5		6月11日	木	三ヶ尻幼稚園	幼稚園児歯科健診	16名 欠席 2名
6		6月23日	火	永岡幼稚園	幼稚園児歯科健診	14名
7		7月29日	水		幼稚園児歯科健診	南方(年中)未受診 1名
8		8月12日	水		幼稚園児歯科健診	三ヶ尻幼未受診 1名
9		8月20日	木		幼稚園児歯科健診	南方(年少)未受診 1名
						合計 143名

糖尿病教室						
						コロナのため文書発行
個別地域ケア会議						
1	R2	5月19日	火	保健センター	個別地域ケア会議	文書にて参加
2		6月16日	火	保健センター	個別地域ケア会議	石川衛生士出席
3		7月21日	火	保健センター	個別地域ケア会議	石川衛生士出席
4		8月18日	火	保健センター	個別地域ケア会議	石川衛生士出席
5		9月15日	火	保健センター	個別地域ケア会議	石川衛生士出席
6		10月20日	火	保健センター	個別地域ケア会議	石川衛生士出席
7		11月17日	火	保健センター	個別地域ケア会議	石川衛生士出席
8		12月15日	火	保健センター	個別地域ケア会議	石川衛生士出席
9	R3	1月19日	火	保健センター	個別地域ケア会議	石川衛生士出席
10		2月16日	火	保健センター	個別地域ケア会議	石川衛生士出席
11		3月16日	火	保健センター	個別地域ケア会議	石川衛生士出席
各種検診						
1	R2	8月4日	火		人間ドック	
2		8月21日	金		人間ドック	
3		11月17日	火		人間ドック	
4		12月22日	火		人間ドック	
5	R3	3月16日	火		人間ドック	
						合計5名
2歳半歯科健診						
1	R2	4月				4/2. 8. 9. 16. 20. 28
2		5月				5/1. 14. 15. 19. 20. 26
3		6月				6/4. 8. 12. 15. 17. 19. 26. 29
4		7月				7/10. 17. 20. 21. 22. 29
5		8月				8/3. 4. 12. 17. 20. 28
6		9月				9/1. 2. 9. 14. 15. 24. 28
7		10月				10/7. 15. 20. 23.
8		11月				11/6. 11. 13. 16. 20. 24.
9		12月				12/2. 10. 11. 25
10	R3	1月				1/5. 6. 12. 13. 15. 18. 20. 26. 28
11		2月				2/9. 12. 15. 19. 26
12		3月				3/3. 5. 9. 11. 12. 16. 17. 25. 30
						合計103名
成人歯科検診						

1		6月				6/5. 11. 17. 19. 26
2		7月				7/16. 27. 29. 30
3		8月				8/4. 7. 11. 31
4		9月				9/7. 17
5		10月				10/7. 9. 21
6		11月				11/2. 11. 13. 18
7		12月				12/10. 22
						合計 29名
<b>後期高齢者 歯科健診</b>						
※該当者、治療優先となった。						
						合計 7名
<b>妊婦歯科健診</b>						
1	R2	8月				8/12.
2		10月				10/15.
3		11月				11/16.
4	R3	1月				1/27.
5		2月				2/4.
6		3月				3/1. 30
						合計 7名
<b>他院歯科CT依頼</b>						
1	R2	4月			あべ歯科 CT	
2		7月			あべ歯科 CT	
3		9月			あべ歯科 CT	
4		11月			あべ歯科 CT	
5		12月			あべ歯科 CT	
6	R3	1月			あべ歯科 CT	
7		2月			あべ歯科 CT	
						合計 7名

# 禁 煙 外 来

担当医師 阿部 俊和

担当看護師 小野寺 利佳（文責）

令和2年度3月末までの禁煙外来受診者は5人でした。受診者の内訳としては男性が5人で女性の受診者はありませんでした。また、年齢も20代前半が1人、40代が2人、50代、60代が各1人でした。1人の方は最終診察前に喫煙、2人の方に関しては初回のみで失敗に終わっております。残りの2人の方については順調に経過しており新年度早々にも卒煙が期待されます。

年々禁煙外来を受診する方が5人以下となってきており健康被害に対する意識が薄らいできているのではと感じています。また、喫煙する方だけでなく周りの方への健康被害もあるということを周知しながら健康向上に貢献していきたいと考えています。

今年度の受診結果は以下の通りです。

禁煙外来受診者	5人（男性5人、女性0人）
禁煙治療継続中	2人（男性2人）
途中離脱者	3人（男性3人）

# 訪 問 診 療

担当看護師 高橋 須磨

令和2年度は令和元年度同様、阿部所長、古田副所長、加藤内科長の医師3人と看護師6人合わせて9人体制で訪問診療を行いました。高齢化社会に伴い在宅医療へのニーズが高まる中、病院に通うのが困難になる方や、病気や障害があつて通院が困難な患者様のもとに定期的に診察を行っています。

令和2年度も週3回訪問診療を行うことができ、訪問申請件数は66人となりました。うち新規申請人数は令和元年度より15人増加の32人でした。通常訪問診療は月に1～2回の対応をしていますが、患者様の容体の変化に応じ足を運ぶことが何度かあり、訪問延べ回数は94回となりました。また、訪問看護ステーションとの連携のもとに、自宅で亡くなられた患者様は16人でした。自宅での看取りは家族の負担もありとても簡単なことではありません。しかし、住み慣れた家で過ごしたい、また自宅で最期を迎えたいという患者様の気持ちと家族の心に寄り添いながら、今後も安心できる医療を提供して行きたいと思えます。

◇令和2年度 訪問診療等集計表

		月												合計	R元年度	H30年度
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
訪問診療	訪問診療申請者数	37	37	41	41	41	40	41	39	43	38	38	39			
	訪問実人数	34	31	36	35	34	36	38	34	37	27	30	35			
	訪問延人数	36	31	36	35	34	36	39	35	38	28	31	35	414	434	475
	訪問延回数	8	8	8	8	7	7	8	8	8	8	8	8	94	95	89
	新規依頼患者数	2	2	5	1	2	1	3	1	6	1	4	4	32	17	25
	死亡者数	2	0	1	2	1	1	2	2	3	1	1	0	18	11	20
	(内：自宅での看取り)	1	2	1	1	1	0	1	1	5	3	3	1	16	8	13
	施設(入院含)入所者数	2	1	1	2	2	2	3	2	6	4	3	2	20	17	18
	訪問終了人数	2	1	1	2	2	2	3	2	6	4	3	2	30	22	33

# 患者紹介、逆紹介

担当看護師 石母田 陽子

令和2年度の他医療機関への紹介患者は令和元年度より10人減の296人、逆紹介患者は81人増の171人でした。紹介患者は入院の必要な重症患者、消化器の手術、前立腺手術目的の紹介が多くを占めており、紹介先は主に県立中部病院、県立胆沢病院、総合水沢病院でした。また令和2年度は、眼科から精査加療目的のため北上済生会病院への紹介が多くみられました。逆紹介では主に近隣の医療機関からや、北上、水沢への通院困難のためのご紹介を多く頂きました。救急搬送患者は、令和元年度より4人増加の28人でした。

## 1. 紹介患者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
県立胆沢病院	8	9	13	16	20	20	9	14	15	17	14	18	173
総合水沢病院	0	0	2	0	3	0	2	3	3	3	1	2	19
県立江刺病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県立中部病院	2	4	1	3	6	3	2	0	2	4	3	3	33
北上済生会病院	1	1	0	4	3	2	1	2	5	3	4	1	27
その他	4	0	9	3	2	4	3	2	5	2	7	3	44
累計	15	14	25	26	34	29	17	21	30	29	29	27	296

## 2. 逆紹介患者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
県立胆沢病院	6	2	4	3	5	8	6	4	8	4	5	6	61
総合水沢病院	7	0	1	0	1	1	1	0	2	2	4	6	25
県立江刺病院	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3
県立中部病院	0	0	1	2	1	2	2	0	0	1	2	2	13
北上済生会病院	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
その他	4	4	6	5	3	5	6	7	6	3	13	5	67
累計	18	6	12	10	10	16	16	12	17	10	24	20	171

## 3. 救急搬送軒数

(単位：人)

県立胆沢病院	24
県立中部病院	1
県立江刺病院	0
総合水沢病院	1
まごころ病院	2
累計	28

# 訪問看護ステーション

訪問看護係長 千田 瑞穂

令和2年度の訪問看護利用状況は、訪問実人数が80人で前年度より20人増加し、訪問延人数は2,289人と前年度比で137人増加となりました。増加要因としては、医療処置のため頻回な訪問が必要な方が多かったことが挙げられます。

関係機関や多職種との連携強化において、対面でのサービス担当者会議や退院時カンファレンスの開催は減少しましたが、書面での確認や随時連絡を取り合い対応しました。

その他の業務として、岩手県立大学看護学部、水沢学苑看護専門学校の実習を受け入れ、6人の学生の指導を行いました。

# 地域保健活動

医療係

地域住民の健康増進を図るため、保健事業を実施しました。

## 1. 保健活動

事業名	内容	担当者	人数
BCG予防接種	乳児を対象とした集団予防接種	医師、看護師、保健師	6回 95人
乳幼児歯科検診	1歳6カ月児歯科健診 2歳6カ月児歯科健診 3歳6カ月児歯科健診	歯科長、歯科衛生士	348人
骨粗しょう症検診	DEXA法による骨塩量測定	医師、放射線技師	222人
歯科検診	成人歯科検診 29人 後期高齢者歯科健診 0人 妊婦歯科健診 7人	歯科長、歯科衛生士	36人
金ヶ崎診療所健康増進運動教室	健康増進及び介護予防のためのストレッチ、筋力トレーニング	講師：(一財)金ヶ崎町生涯スポーツ事業団インストラクター	33回 1,121人



# 看 護 科

看護師長 小野寺利佳

## 1. 看護体制

看護師数 7人（主任看護師 1人 看護師 5人 准看護師 1人）

## 2. 看護科基本方針

- 1) 安全で安心な医療と看護を提供します
- 2) 医療事故を防止します
- 3) 住民の健康な生活の実現のため、看護領域の展開を行います
- 4) 健康講演会などで知識、意識の啓発を図ります
- 5) 保健医療福祉関係者との積極的な連携を図り協働して看護を提供します

## 3. 令和2年度の活動と成果

今年度は4月と10月に1人ずつ訪問看護への異動がありましたが、10月に新規採用で2人のスタッフが加わり7人のスタッフで業務を行うことができました。

日常の診療に加え、医療関連イベントとして年2回所内にポスター展示を行いました。また、今年度も地元の中学校に出向き2年生を対象にしたワークショップにも参加しました。糖尿病教室については新型コロナの影響で行うことはできませんでしたが、糖尿病教室通信を発行し、糖尿病患者様、そのご家族、興味のある方に配布を行いました。

- 1) 糖尿病教室 糖尿病教室通信6回発行
- 2) 医療関連イベント 5月12日「看護の日」イベント  
9月9日「救急の日」イベント
- 3) その他 キャリア教育ワークショップへの参加

# 放 射 線 室

診療放射線技師 佐々木 清光

診療放射線部門は、「人に優しく心に温かい地域医療の提供に努めます」を理念に、

1. 患者様の視点に立って行動します
2. 常に最善の方法を選択する医療を行います
3. チーム医療を推進します

を基本方針として業務を行っています。

主な設備は、一般撮影装置・骨密度測定装置・透視撮影装置・X線CT撮影装置です。

撮影業務は、保険診療に加えて事業所健診・住民検診・介護福祉施設入所者検診等に積極的に取り組みました。

令和2年度の撮影件数は前年度に比べ、一般撮影 21%増、骨密度 2%減、X線TV 8%増、CT15%増となりました。

## ◇令和2年度X線業務動向

項目	一 般		D E X A		T V		C T		
	件数	一日平均	件数	一日平均	件数	一日平均	件数	一日平均	
4月	133	6.3	66	3.1	13	0.6	28	1.3	21 日
5月	119	6.6	116	6.4	13	0.7	34	1.9	18 日
6月	191	8.7	66	3.0	11	0.5	34	1.5	22 日
7月	163	7.8	172	8.2	16	0.8	52	2.5	21 日
8月	324	18	84	4.7	11	0.6	64	3.6	18 日
9月	201	10.1	164	8.2	13	0.7	49	2.5	20 日
10月	170	8.1	44	2.1	16	0.8	61	2.9	21 日
11月	179	9.4	110	5.8	10	0.5	43	2.3	19 日
12月	104	5.2	96	4.8	9	0.5	48	2.4	20 日
1月	214	10.7	28	1.4	7	0.4	37	1.9	20 日
2月	110	6.1	48	2.7	11	0.6	42	2.3	18 日
3月	137	6.0	78	3.4	13	0.6	35	1.5	23 日
累計	2,045	8.5	1,072	4.4	143	0.5	527	2.2	241 日

# 検査室

主任臨床検査技師 亀井 浩

## ◇検査室基本方針

1. 患者さま様へ信頼のおける検査を心がける
2. 精度の向上と質の高いデータを迅速に提供する
3. 専門知識の習得、技術の研鑽に努める

## ◇業務動向

循環器内科が新設され生理検査数が大幅な増加となりました。又、臨時職員を新たに迎え、週 20 時間から週 30 時間勤務に変更されました。変更に伴い事業所健診や予約検査の対応が以前より臨機応変に出来るようになり、受付人数も増加しました。更新された検査機器については、多項目自動血球分析装置は精度・処理速度が向上し、よりスピーディーに結果報告ができ、ホルター心電計は小型化され受診者の負担軽減がなされたと感じます。

検査件数も増加し、検査総数は昨年度比で約 12%の増加となりました。

## ◇検査機器の更新

多項目自動血球分析装置 Sysmex XN-1000

ホルター心電計 フクダ電子 FM-1300

## ◇令和 2 年度検査実績

検査項目	件数 (項目数)
生化学検査	41,722
一般検査	17,604
血液学的検査	16,342
血清学的検査	2,163
生理学的検査	1,219
委託検査	2,933
合計	81,983

## ◇令和 2 年度参加 臨床検査精度管理調査

岩手県医師会

岩手県臨床衛生検査技師会

デタミナーサーベイ

栄研サーベイ

\*検査項目は診療報酬点数算定単位

# 薬 局

薬剤師兼主事 内田 真喜子

ほぼ 100%院外処方を実施しているため、調剤業務としては検査前処置薬の調剤のみとなっております。主な業務は以下のとおりです。

## 1. 薬品・診療材料の購入及び管理

期首見積もり、購入業者決定、購入、在庫の確保（薬品：1か月分、診材：3か月分）、使用期限の管理・報告等診療が円滑におこなわれるよう心がけています。

在庫管理はレセプト連動となっており、月末に調べた実在庫との誤差の調査・修正を行っています。

## 2. 医薬品情報管理（D I）業務

医薬品安全対策情報、各メーカーからの文書の回覧で情報の共有化を図っています。医薬品等に関する問い合わせに対しては、メーカーのホームページの閲覧、メーカーD I室に直接電話をかける等で情報収集をし、迅速な回答に努めています。

## 3. 所内勉強会の開催

毎月第4月曜日に製薬会社のMRの方にご協力をいただき開催しています。

今年度はコロナ感染症予防のため、定期：1回、臨時：2回の合計3回の実施となりました。

## 4. 学校薬剤師業務

令和2年度は、町内2小学校、2幼稚園、給食センターを担当しました。

小学校・幼稚園は夏・冬の年2回の環境調査の他に、三ヶ尻小、西小6年生を対象に薬物乱用防止教室を行いました。

給食センターには年1回秋に検査で伺いました。

## 5. 個別ケア会議出席

毎月第3火曜日の個別ケア会議にアドバイザーとして参加しています。

## 6. その他

《予防接種》 予約受付、個別接種予定表の作成

《糖尿病教室》 今年度は “糖尿病教室通信” の配布となりました。

# 外来栄養指導

管理栄養士 箱崎 栄里

下記のとおり外来患者の方に栄養指導を行いました。

## 1. 年代、性別人数

(単位：人)

年代	男性	女性	合計
20 歳代	0	0	0
30 歳代	2	0	2
40 歳代	4	0	4
50 歳代	7	5	12
60 歳代	4	7	11
70 歳代	3	7	10
80 歳代	0	3	3
合計	20	22	42

## 2. 病態別人数 (重複あり)

(単位：人)

疾病名	人数
糖尿病	25
脂質異常症	17
高尿酸血症	3
高血圧症	3
肥満症	1
合計	49

# 人間ドック・検診

看護師長 小野寺利佳

令和2年度も令和元年度同様にドック・事業所健診・受託検診として金ヶ崎町役場職員の結核検診、胃内視鏡検査、骨粗鬆症検診、肝炎ウイルス検診を行いました。

人間ドックについては9人と令和元年度より3人の減少となり、また事業所健診については令和元年度より約150人ほどの増加が見られました。特定健康診査及び事業所健診については昨令和元年度同様増加しており、今後も増加傾向にあると予想され、可能な限り対応をしていきたいと思えます。

令和2年度の件数は以下のとおりです。

検診内容		受検者
人間ドック		9人
事業所健診		811人
特定健康診査		41人
金ヶ崎町職員検診	結核検診	173人
	胃内視鏡検査	62人
	骨粗鬆症検診	2人
	肝炎ウイルス検査	26人

# 早 朝 診 療

担当看護師 伊藤 舞

平成 21 年 7 月から早朝診療を開始しており、金ヶ崎町に勤務されている方や学生が対象です。今年度は昨年度と比較して、10 人増加の患者総数 134 人でした。

今年度の受診内容は、空腹時の血液検査、通勤前の定期受診、外科の処置が中心でした。

今後も患者数増加を目標に、引き続き所内掲示の工夫、広報活動を行い、多くの方々に受診されるよう環境づくりに努めていきたいと思ひます。

(単位：人)

年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
21 年度	0	0	0	26	10	11	9	26	19	6	10	11	128
22 年度	13	11	7	4	15	10	14	12	20	22	15	12	155
23 年度	8	20	20	16	17	29	15	17	14	15	28	20	219
24 年度	20	18	14	21	27	24	19	30	27	28	19	42	289
25 年度	25	22	31	36	20	27	25	25	26	19	19	19	294
26 年度	20	21	13	20	12	15	14	18	40	19	17	15	224
27 年度	22	12	15	15	12	9	19	15	21	22	32	22	216
28 年度	14	17	25	17	13	11	15	16	11	11	15	11	176
29 年度	6	18	17	10	5	8	5	9	10	9	12	13	122
30 年度	13	7	11	11	12	6	19	7	13	21	11	9	140
元年度	23	4	10	10	10	10	7	7	16	7	8	12	124
2 年度	7	14	15	18	7	7	9	10	10	7	11	19	134

# 土 曜 診 療

担当医師 古田 一裕

平成 23 年 7 月より土曜診療を行っています。診療体制は医師の診察のみを行い X 線検査、臨床検査は行なっておりません。平成 23 年 11 月より住民サービスの一環として予約制でワクチン接種を開始しました。

平成 25 年度も前年同様の体制で開始しましたが、平成 26 年 1 月より医師の勤務体制の変化により偶数週土曜日、午前だけの診療に変更しています。

令和 2 年度の土曜診療月平均受診者数は 14.9 人（令和元年度 22.5 人、平成 30 年度 25.3 人、平成 29 年度 18.1 人、平成 28 年度 26.5 人、平成 27 年度 25.8 人、平成 26 年度 34 人、平成 25 年度 61 人、平成 24 年度 61 人、平成 23 年度 44 人）、また一日平均受診者数は平均約 14.8 人（令和元年度 10.8 人、平成 30 年度 12.7 人、平成 29 年度 9.08 人、平成 28 年度 13.3 人、平成 27 年 13 人、平成 26 年度 17 人、平成 25 年度 17 人、平成 24 年度 15 人、平成 23 年度 13 人）となっています。

平成 26 年度からは月 2 回の診療のため受診患者数は平成 27 年度まで減少傾向でしたが、その後受診者数は増加し、平成 29 年度は減少しました。平成 30 年度は一時増加しましたが、令和元年度は減少し、令和 2 年度は増加しました。新型コロナの流行でインフルエンザワクチン接種が早まり土曜診療での接種増加が影響したと思われます。

住民サービスとして開始した土曜診療ワクチン接種は、令和 2 年度延 250 人（令和元年度 142 人、平成 30 年度 154 人、平成 29 年度 81 人、平成 28 年度 155 人、平成 27 年度 108 人、平成 26 年度 108 人、平成 25 年度 230 人、平成 24 年度 172 人）に行いました。

## ◇令和 2 年度 土曜診療ワクチン接種実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
アクトヒブ							1						1
プレベナー							2						2
ニューモバックス													0
麻疹風疹			2		1	1	1					1	6
子宮頸癌											1		1
B型肝炎													0
ムンプス													0
水痘							1						1
日本脳炎		1		1		2	2		6			3	15
D T						1				2		1	4
不活化ポリオ													0
麻疹													0
四種混合													0
インフルエンザ							50	121	49				220
合計		1	1	1	1	4	57	121	55	2	1	5	250



# 物 理 療 法

担当看護師 村上 郁恵

令和2年度は、総利用件数が前年度よりも大幅に減少し、801人でした。一日平均利用人数は6.1人でした。

令和2年度の利用件数減少は、新型コロナウイルス感染症の心配などから外出を控えている方が多かったという事が理由の一つと考えます。

そのような状況でも、やはり農作業の時期は利用される患者様が多く、肩こり・慢性期腰痛・急性期腰痛に対し低周波やウォーターベッドなどによる治療を行っています。

利用される患者様個々の症状を把握し、症状緩和につながるよう努めていきたいと思っております。

## ◇令和2年度 物理療法実施表

(単位：件、人数)

実施項目	件数	1日平均人数 <sup>※</sup>
熱気浴	26	0.2
牽引(腰)	38	0.2
(頸)	60	0.3
ウォーターベッド	392	1.6
低周波	634	2.6
ホットパック	279	1.2
総利用数	801	6.1
前年度	2,224	9

※土日、祝祭日を除く

### 3. 委員会活動

## 保健福祉センター運営会議

委員長 阿部 俊和

運営会議は診療所、歯科診療所の患者数や収益を職員全員が共有する目的と保健福祉センター事業を職員全体が認識し業務を円滑に運営する目的で行っております。

診療所・歯科診療所部門と保健福祉センター部門の2つの会議を同じ日程で行いました。毎月最終週に診療所内の会議室で開催しました。第1部は診療所、歯科診療所に加え保健福祉部門の職員が全員一同に会しての会議です。

診療所・訪問看護ステーション、医療係、福祉係、介護保険係、元気100歳健康支援係より各々の活動についての報告をしていただき、全体で現在行っている活動に関する情報の共有を行いました。また、各部署における1カ月の行事予定の確認も行われました。これにより診療所のスタッフも保健福祉センターの事業内容を理解し、連携もスムーズになったと思われます。

第2部は診療所、歯科診療所部門の会議で毎月の収支の詳細、患者数を内科、歯科、更に婦人科、神経内科、眼科、整形外科の6つの部門にてそれぞれの報告があり、診療所、歯科診療所の全職員が経営状態を共有しました。月の累積の収支等についての報告があり、目標に対する進捗状況も認識してもらいました。早朝診療、土曜診療の患者数についても報告がありました。

看護科からは訪問診療の件数や看取りの数等の報告がありました。

レントゲン部門によるレントゲン検査の推移（CT、骨密度測定、透視、単純写真数など）、臨床検査科における検査数（一般検体検査数、心エコー、脈波検査など）、内視鏡検査数の報告もなされ、検査数の推移や多寡について検討致しました。

訪問看護ステーションからは利用状況、訪問回数、看取りの数や収支が報告されました。

委員会報告では広報委員会、出前講座、院内勉強会、糖尿病教室、経営改善委員会、環境整備委員会、業務改善委員会の各々より各委員会活動内容の報告がありました。

診療部門、役場保健センターの事務部門が一堂に会して会議を行い、情報を共有する事により更に連携が強まり機能が強化できたと思います。今後も継続し、更に住民に対し有益で迅速な対応が可能なセンターを目指します。

構成員：保健福祉センター全職員

# 管理委員会

委員長 阿部 俊和

管理委員会は保健福祉センターの幹部により構成されており、今令和2年度も毎週金曜日の午後1時15分から20分程度行いました。

委員会では医師3人、歯科医師の2週間の出張、訪問等のスケジュール、事務長の週間予定に加え、看護科、訪問看護ステーションの行動予定、薬局・検査・レントゲンの2週間の予定と状況報告、保健福祉センターからは医療係、福祉係、介護保険係、元気100歳健康支援係の職員が、2週間のイベントや会議等のスケジュール、事業の進捗状況等の説明を行い、その調整も同時に行いました。また、診療所運営上の問題点や課題に関して協議しました。

診療所、保健センターを運営する上において幹部による毎週のスケジュール等のすり合わせは重要であり、来年度も継続していきます。

構成委員：委員長 阿部俊和

委員 古田一裕、加藤喜信、高橋通訓、相澤 啓、佐藤康博、高橋真一郎、及川恵美、  
菊地淑子、佐々木清光、内田真喜子、亀井 浩、小野寺利佳、千田瑞穂

# 広報委員会

副主幹 及川 恵美

広報委員会の活動は主として、保健福祉センターだよりの記事案を検討する会で、今年度は、たより発行日の前月に計5回開催しました。

保健福祉センターだよりは、広く町民に診療所、訪問看護ステーション及び保健福祉センターの業務をお知らせするために発行しているものです。

町民が知りたい最新情報を確実にお伝えすることができるよう、今後とも活動を続けてまいります。

## 1. 委員会構成

委員長	福祉係長	佐藤 康博			
委員	所長	阿部 俊和	歯科長	高橋 通訓	
	事務長	相澤 啓	副主幹	及川 恵美	
	主任看護師	山田 洋子	看護師	高橋 須磨	
	看護師	鈴木 麻代子	保健師	瀬川 久美子	
	主事	小野寺 真也	主事	渡辺 紘生	
	主事	千葉 聖也	主事補	小原 莉世	
	放射線技師	佐々木 清光	看護師	新岡 蘭	

## 2. 広報委員会開催日とたより発行日

回数	号数	広報委員会	発行日
1	78	令和2年5月20日(水)	令和2年6月18日(木)
2	79	令和2年7月15日(水)	令和2年8月20日(木)
3	80	令和2年9月16日(水)	令和2年10月15日(木)
4	81	令和2年11月18日(水)	令和2年12月17日(木)
5	82	令和3年1月21日(木)	令和3年2月18日(木)

3. 発行部数 1号あたり 約5,500部

4. 発行先 町内全世帯、近隣医療機関・福祉施設

5. 発行紙面 (保健福祉センターだより)

保健福祉センターだよりの内容については、国保金ヶ崎診療所ホームページの「保健福祉センターだより」よりご参照下さい。

# 環境づくり委員会

委員長 高橋 通訓

令和2年度の作品展示は、下記の日程で行いました。

月	学校名	月	学校名
7月	南方幼稚園	11月	南方幼稚園
8月	六原幼稚園	12月	六原幼稚園
9月	三ヶ尻幼稚園	1月	三ヶ尻幼稚園

また毎年恒例の正月、七夕、ハロウィーン、クリスマスツリーなど、皆さんの協力で行事の飾りつけを行いました。

夏には駐車場花壇の草取り、石拾いを全員で行いました。12月には大雪と寒波が続き、雪掻きが例年になく大変な年で、駐車場のほぼ3分の1が除雪で堆積した雪で使用できませんでした。年度末には写真展の申し込みがありましたが、コロナ禍で極力診療所への人の出入りを少なくしたいことから展示を見合わせました。

構成委員：委員長 高橋 通訓  
委員 阿部 俊和 亀井 浩 千田 瑞穂 四日市春美  
佐々木美由紀 高橋 光緒 石母田陽子 小原 茉奈  
菊地 祥 伊藤 舞 高橋 幸枝 植田 里美  
朝倉 卓 菊池 望花



(診療所駐車場から官舎に続く道 2020 12月 16日)

# 経営改善委員会

委員長 古田 一裕

経営改善委員会は顧客、財務、業務の質、業務効率、学習と成長の視点からそれぞれに評価指標、目標値、実行計画を立てそれを年度末に評価するBSCによる検討を行っています。

前年度のBSCでの評価は各部署とも十分な目標達成を得ていると判断しました。平成29年度に電子カルテの導入、医事システムの変更、平成30年度は新診療所での業務となりました。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため通常診療、医療活動に大きな支障をきたしました。また学会、研修等の活動に関しても大きな変化が生じました。新型コロナウイルス感染症を前提とした経営改善の努力をしていく必要があると思われます。

委員会メンバー：委員長 古田 一裕

委員 阿部 俊和 高橋 通訓 小野寺利佳 千田 瑞穂 亀井 浩  
佐々木清光 内田真喜子 高橋 須磨 伊藤 舞 相澤 啓  
及川 恵美 佐藤 大樹

# 業務改善委員会

委員長 加藤 喜信

令和2年度は3回委員会を3回開催しました。

検討されたこととしては、医療安全委員会や感染対策会議を運営委員会の場に盛り込んでという案が出ましたが、これは年に3、4回単独で開催したほうがよいであろうという結論になりました。また、部品の購入単価など今後どのように決めていくかに関しては、外部業者への委託も含めて検討することとなりました。10月の委員会ではインフルエンザワクチン接種及びコロナ対策として土曜診療の看護師2人体制になったことが周知されました。3月の委員会では受診患者の全身体温測定とカルテへの記載することが決まりました。また、1年に1回程度の割合でBLS講習会を開いてはどうかという案もあり、非常に良い提案であるとしたうえで、どのようにするかは今後の検討課題となりました。

ほかにも多くの案につき話があり、活発な委員会となりました。

新型コロナウイルス感染症流行に伴い、いろいろな問題が出てくるようになったため皆忙しく、委員会を開く時間も確保しにくい状況とはなってきましたが、引き続きより良い診療所目指して委員会を続けていきたいと思えます。

構成委員：委員長 加藤 喜信

委員	阿部 俊和	古田 一裕	高橋 通訓	亀井 浩
	内田真喜子	小野寺利佳	高橋 須磨	千田 瑞穂
	佐々木清光	相澤 啓	及川 恵美	小原 莉世

# 薬事委員会

薬剤師兼主事 内田 真喜子

薬事委員会は、医薬品の購入および保管管理が適正かつ有効に行なわれるように協議する場として設置され、通常年2回開催されています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策関連の会議で日程がとれず、開催されませんでした。

相見積もり薬品の採用決定は、起案し回覧決裁としました。

委員会構成：委員長 所 長 阿部 俊和

委員	副町長	小野寺正徳	副所長	古田 一裕	内科長	加藤 喜信
	歯科長	高橋 通訓	事務長	相澤 啓	医療係長	及川 恵美
	看護師長	小野寺利佳	薬剤師兼主事	内田真喜子		

会議内容（通常）

- ・報告事項 薬品購入実績について  
使用期限の終了する医薬品について  
ワクチン接種状況について
- ・協議事項 見積依頼医薬品について  
医薬品納入業者の決定について  
相見積もり医薬品の採用決定について  
使用期限終了薬品の廃棄について
- ・その他



# 糖尿病教室

主任看護師 小野寺利佳

令和2年度は新型コロナウイルス感染症で感染を避けるため糖尿病教室を行うことができませんでした。その代替りの方法として7月より関連部署から糖尿病通信を発行し外来で糖尿病患者様、その御家族、興味のある方に配布を行いました。例年と違う形での実施となりましたが、手に取られた方は皆さん興味深く読まれていました。

今後も新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながらの対応となりますが、糖尿病治療の目的の合併症の予防と進行を抑制し健康な人と変わらない社会生活を可能にすることは変わらないため、患者様と医療提供側との密接な連携による療養指導の必要性を感じながら、地道ではありますが糖尿病の基本を知っていただくためにも今後も現状にあった方法で取組を継続していきたいと考えております。

回	発行月	テーマ	担当
第1回	7月	糖尿病全般	阿部所長
第2回	8月	運動について	看護師
第3回	9月	食事について	管理栄養士
第4回	10月	歯周病について	高橋歯科長
第5回	11月	糖尿病薬について	薬剤師
第6回	12月	検査について	検査技師

# 所内勉強会報告

薬剤師兼主事 内田 真喜子

個々のスキルアップをはかることを目的に、毎月第4月曜日に勉強会を開催しています。

製薬会社のMRの方に講師をお願いし、15～30分程度の時間で、病態・最近の治療薬等のお話しをしていただいています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、3回のみで開催となりました。

次年度も新型コロナウイルス感染症の状況をみながらの開催とはなりますが、製薬会社等の事業者ご協力をいただき、勉強会を開催したいと思います。

回	月	講師名（敬称略）	演 題	参加人数
第1回	R 2 5月	多胡 太志（アストラゼ ネカ）	高カリウム血症治療薬（ロケルマ）	15人
第2回	R 3 1月	中岡 秀明（帝人ヘルス ケア）	ボツリヌス療法（ゼオマイン）	12人
第3回	2月	木村 祥（大塚）	COVID19 病原体検査の指針の改定内容を 踏まえて～Online（新型コロナ抗原定性 キット クイックビ <sup>®</sup> COVID19Ag）	12人

# 出前講座

医療係

町民を対象として公衆衛生、医療、健康等の保健医療全般の知識や意識を高めることを目的に、職員が訪問して講演を行う事業を平成 21 年 6 月から診療所にて開始し、平成 22 年 6 月から金ヶ崎町役場の事業となりました。

診療所関係の講座メニューは 6 職種 25 演題で、令和 2 年度の実施状況は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、講演回数 4 回、受講者数 61 名にとどまりました。

## 1. 令和 2 年度出前講座メニュー（診療所関係）

番号	講座名	担当	時間
1	糖尿病について	内科医師	30分
2	健康で長生きするためには	内科医師	30～60分
3	インフルエンザについて	内科医師	30分
4	健康診断について	内科医師	30分
5	ロコモティブシンドローム(運動器症候群)	内科医師	30分
6	慢性腎臓病について	泌尿器科医師	30分
7	前立腺肥大症、前立腺癌について	泌尿器科医師	30分
8	透析療法について	泌尿器科医師	30分
9	泌尿性生殖器癌について	泌尿器科医師	30分
10	尿失禁、過活動膀胱について	泌尿器科医師	30分
11	肛門疾患(排便時出血)について	外科医師	30分
12	診療所医師による健康講座	医師	30分
13	歯周病と全身疾患について	歯科医師	30分
14	正しい歯の磨き方	歯科医師	30分
15	歯周病と糖尿病	歯科医師	30分
16	マウスガード(スポーツ歯学)	歯科医師	30分
17	口腔ケアと誤嚥性肺炎の予防	歯科医師	30分

18	お薬の飲み方・使い方	薬剤師	30分
19	X線写真でわかるさまざまな病気	診療放射線技師	30分
20	検査の結果をみてみよう!! (糖尿病)	臨床検査技師	30分
21	応急処置について	看護師	30~60分
22	尿失禁と骨盤底筋体操について	看護師	30分
23	インフルエンザの予防方法について	看護師	30分
24	訪問看護について	看護師	30分
25	血圧の正しい測定法を学びましょう	看護師	30分

## 2. 令和2年度出前講座実績（診療所関係）

	実施日	講座名	講師	受講団体	参加人数
1	R2年11月5日	高齢者の泌尿器トラブル	阿部所長	金ヶ崎町女性百人会	20名
2	R3年1月27日	薬物乱用防止	内田薬剤師	町立第一小学校	21名
3	2月5日	健康で長生きするために～生活習慣病とロコモ～	阿部所長	二の町老人クラブ	13名
4	2月7日	薬物乱用防止	内田薬剤師	町立三ヶ尻小学校	17名
計					61名

# CT読影会（画像カンファレンス）

診療放射線技師 佐々木 清光

阿部所長立案の下、令和2年7月2日（木）よりCT読影会が始まりました。

隔週の木曜日（第1週、第3週）16時30分から、常勤医、臨床検査技師、放射線技師により読影会を行っております。

内容は、当院で撮影したCT画像について、遠隔画像診断（鈴木画像診断研究所）の読影結果も踏まえて、診療行為とCT画像の読影結果及び採血等の臨床検査結果を照らし合わせ、今後の診療内容を検討しています。

今般、画像読影の未確認ミスにより病態が悪化する、死亡するなどというケースが散見されていることがメディア等でも取り上げられています。当院でもこのような事例が起きないようにするため撮影した画像を目線を変えて確認することで、医師や技師の知識の向上を図ることを目的に行っています。

以下は、令和2年度の実績です。

	開催日	CT読影件数
第1回	令和2年7月2日	8件
第2回	令和2年7月16日	21件
第3回	令和2年7月30日	28件
第4回	令和2年8月6日	16件
第5回	令和2年8月20日	24件
第6回	令和2年9月10日	24件
第7回	令和2年9月17日	20件
第8回	令和2年10月1日	18件
第9回	令和2年10月16日	27件
第10回	令和2年10月29日	25件
第11回	令和2年11月19日	26件
第12回	令和2年12月3日	21件
第13回	令和3年1月21日	76件
第14回	令和3年2月19日	47件
第15回	令和3年3月4日	23件
第16回	令和3年3月18日	17件

# 児童、園児の健康診断

担当医師 古田 一裕

幼稚園の健康診断及び医師会からの依頼で金ケ崎第一小学校と西小学校の校医を引き受け健診に従事しています。校医に関しては第一小学校を阿部所長、西小学校を古田が担当しました。幼稚園の健診は阿部所長、加藤医師、古田との3人で担当しています。金ケ崎診療所は小児、学童の健康維持に貢献し、子どもを持つ若い世代が安全で安心して子育てをし、生活ができる環境の維持に貢献しています。

## ◇幼稚園

- 1) 三ヶ尻幼稚園、南方幼稚園 4才児：古田
- 2) 永岡幼稚園、南方幼稚園 3才児：加藤内科長
- 3) 六原幼稚園、南方幼稚園 5才児：阿部所長

## ◇小学校

- 1) 第一小学校 阿部所長
- 2) 西小学校 古田

# 診療応援状況

◆阿部 俊和 所長

毎週火曜日の午後総合水沢病院への診療応援

県立江刺病院当直

随時奥州市立小児夜間救急

◆古田 一裕 副所長

毎週火曜日の午前中 県立千厩病院総合内科外来への診療応援

随時奥州市立小児夜間救急

◆加藤喜信 内科長

毎週水曜日午後 県立千厩病院内視鏡検査、内視鏡手術への診療応援

第2、4木曜日午後 県立胆沢病院への診療応援

随時県立江刺病院当直

随時まごころ病院当直

随時奥州市立小児夜間救急

# 業 績

文責 阿部 俊和

## 講演

- 1) 令和2年11月5日 金ヶ崎町女性100人会出前講座  
「高齢者の泌尿器科トラブル」について  
場所：金ヶ崎町永岡温泉
- 2) 令和3年2月5日 二の町老人クラブ出前講座  
「健康で長生きするために - 生活習慣病とロコモ -」  
場所：金ヶ崎町二の町自治会館



# 出張予防接種

担当医師 阿部 俊和

国保金ケ崎診療所では産業医訪問先企業の健康管理目的、また金ケ崎町にある企業に対するサービス目的で、インフルエンザワクチン接種を行っています。令和2年度はコロナ禍でありましたが、感染対策を施しつつ、5社に対して延715人に対してワクチン接種を行いました。

原則、医師1人、看護師1人、事務2人の編成で訪問しワクチン接種を行いました。延日数は12日間でした。

また、所内において役場職員155人、企業2社176人の集団接種も行いました。

当診療所業務に支障がでない範囲で出張予防接種事業を継続したいと思います。

## ◇出張ワクチン接種

北上ハイテクペーパー株式会社：2日間、114人

アイシン東北株式会社：2日間、109人

トヨタ東日本株式会社：5日間、361人

関東商事株式会社：2日間、82人

岩手ウチダシューズ株式会社：1日間、49人

## ◇所内での集団ワクチン接種

役場職員：5日間、155人

イオンスーパーセンター金ケ崎：2日間、130人

株式会社グリーンテック：5日間（土曜診療）、46人

# 産業医活動

日本医師会認定産業医 阿部 俊和

令和3年度は新型コロナ禍で世界全体が行動変容を求められた年となりましたが、産業医活動は例年のごとく行いました。

産業医活動の目的は、金ケ崎地域の産業振興の一助としての産業医派遣であります。例年通り、日医認定産業医の資格を有する3人の医師体制で産業医活動に従事しました。令和2年度も金ケ崎町役場の産業医の他に北上ハイテクペーパー（株）、アイシン東北（株）と共同物流サービス（株）、（株）グリーンテックの4事業所において産業医活動を行いました。

役場における産業医活動は診療所での健康診断の一部を引き受ける事、更に衛生委員会に出席し、産業医としてコメントを加える事が主な業務でありました。しかしながら、外来診療の合間に会議出席をせざるを得ない状況であり、衛生委員会への出席率が悪く、次年度より出席する環境を整えていきたいと思えます。

北上ハイテクペーパー（株）には月1回第3月曜日の午後に訪問しました。活動内容は職員検診後の要指導対象者に対する面談、職場巡視、衛生委員会への出席、不調を訴える職員の診察、残業の多い職員との面談などが主なものでありました。衛生委員会では医療のトピックスの情報供与と新型コロナウイルスなどの感染症の情報提供も行いました。その他、産業医活動とは別に職員に対するインフルエンザの予防接種を会社に訪問して行いました。

アイシン東北（株）、共同物流（株）においても北上ハイテクペーパー（株）と同様に月1回午後に職場巡視、検診後の要指導者に対する面談、衛生委員会への出席等、産業医として必要な活動を行いました。

（株）グリーンテックにおいては職場巡視する環境にはなく、衛生委員会出席が主な業務でありました。

以上、前年度とほぼ同様な活動内容でありましたが、今後とも継続します。

## 4. 臨床研修医受け入れ

副主幹 及川 恵美

岩手県立胆沢病院臨床研修医(医師免許取得後2年目までの医師)の臨床研修を受け入れる教育施設として、臨床研修医2名を受け入れました。

臨床研修は、国の定めた到達目標に準拠して、指導医のもとでの診療行為を通して実施するもので、医療に携わる若い人材を育成するために行われます。

### 【G I O】(一般目標)

管理型臨床研修病院である県立胆沢病院における一般目標に準じ、綿密な連携体制のもとに地域医療に関し、特に次の点を重視し研修を実施する。

### 【S B O s】(行動目標)

1. 専門分野にとらわれない総合的な診療を行う能力・技術の習得
2. 患者及び家族とのコミュニケーションを重視した、精神的な面を含めて幅広い人間性の習得
3. 地域住民と接する機会を通じての、社会性・公共性の認識の習得
4. プライマリ・ケア実践のための対応能力の習得

①研修医氏名：おおくぼ けいすけ 大久保 佳祐先生

②研修期間 令和2年5月20日～  
令和2年8月31日

①研修医氏名：ごとう ゆうた 後藤 佑太先生

②研修期間 令和2年10月1日～  
令和2年10月31日



前列中央が大久保先生



中央が後藤先生